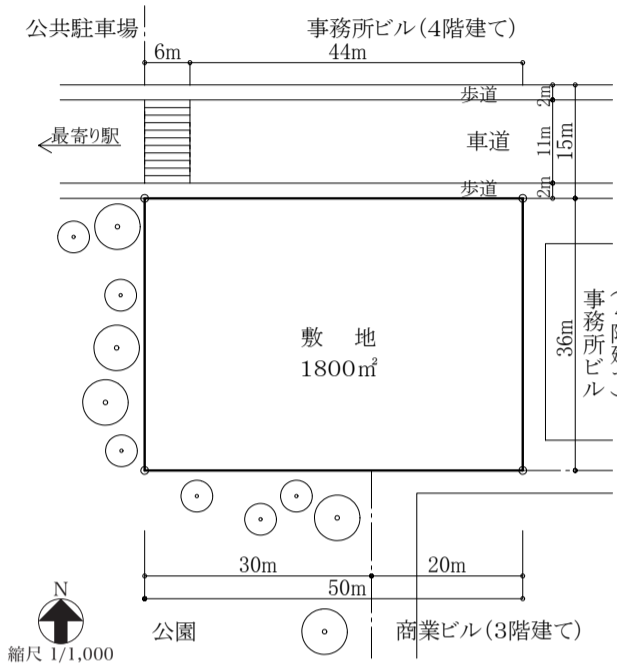


I. 設計条件

この課題は、ある地方都市の市街地に、美術・芸術文化の発信地となることを目指した市立美術館を計画するものである。施設については、利用者の利便性、美術品の保存と有効な展示等に配慮し、地域の公共財産として価値あるものとする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、近隣商業地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は80%、容積率の限度は300%である。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 構造・階数等  
構造種別は自由とし、地下1階〔機械室(面積適宜)がある。〕、地上2階建ての1棟の建築物とする。
- 床面積の合計  
地下1階及び塔屋を除く床面積の合計は、2,000㎡以上、2,500㎡以下とする。この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室  
下表の室は、すべて計画する。

室名	特記事項	床面積
常設展示室	・美術館所有の作品展示を行う。	特記事項により算定
企画展示室	・無柱空間とする。	
収蔵庫	・収蔵品は非公開とし、作品の保存、修復を行う。 ・前室を設ける。	
展示資料室	・展示作品に関する資料を展示する。	
モニュメント展示スペース	・エントランスホールの一部に開放、接続し、高さ3m、幅1m、奥行1mのモニュメント3体を設置の上、周りを回遊できる。 ・上部に50㎡以上の吹抜けを設ける。	
喫茶室	・15人程度が利用できるものとする。 ・カウンター、いす、テーブル等を設ける。	
事務室	・7人分の執務スペースとし、いす、机、収納等を設ける。 ・書類庫(面積適宜)を設ける。	適宜
館長室	・いす、机、収納、ソファセットを設ける。	
学芸員室	・2人分の執務スペースとし、いす、机、収納等を設ける。	
守衛室	・常駐2人とし、仮眠室を付設する。	
休憩ラウンジ	・鑑賞の前後、合間に利用できるよう、簡易ソファ40人分を分割配置する。	
情報検索コーナー	・エントランスホールに開放、接続し、PC端末5台を設ける。	
売店	・展示作品のカタログ、ポスター等の販売を行う。	
職員休憩室		
職員更衣室		
荷解室	・バックヤードのトラック荷台(高さ90cm)からの円滑な水平搬入に配慮する。	
エントランスホール	・風除室を設け、券売機を設置する。 ・総合案内カウンターを設ける。	
設備スペース	・採用した設備計画に応じて、地下1階機械室のほか、設備機械室(空調、給排水、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。	
・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。		

3. その他の施設等

- バックヤードは、次のとおり計画する。
  - 美術品等の搬出入を目的とする。
  - 地上に設け、トラック専用の進入路、駐車スペースを含め5m×15m以上を確保する。
- 駐車場は、車いす使用者用として2台分、サービス用として1台分を地上に設ける。なお、車いす使用者用の駐車場は、幅を3.5m以上とし、建築物の主要な出入口からの距離ができるだけ短くなる位置に設ける。また、来館者用及び職員用の駐車場については、近隣の公共駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- 自転車置場は、利用者用として20台分(1台当たり0.5m×2m程度)を設ける。
- (1)～(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
  - 建築物の来館者動線は鑑賞順路に配慮し、円滑となるよう計画する。
  - 建築物はセキュリティ・防犯、バリアフリーに配慮する。
  - 建築物の環境負荷低減に配慮する。
  - 敷地の周辺環境に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
  - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
  - 構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
  - 耐力壁等を設け、耐震に配慮する。
  - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
  - 空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備、エレベーター等を適切に設け、環境負荷及びランニングコスト低減に配慮する。
  - 排煙設備を適切に設ける。

II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 耐力壁等(凡例の空欄に名称・記号を記入し、図示する。) ニ. 設備シャフト〔パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)〕の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図にて点線にて図示する。) ヘ. 常設展示室、企画展示室、収蔵庫、展示資料室、モニュメント展示スペースの床面積 ト. 常設展示室の展示用パーティション(破線にて図示する。) チ. 来館者の入館から退館に至るまでの主な鑑賞順路(破線による片矢印にて図示する。) リ. 断面図の切断位置 ② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 駐車場(サービス用駐車場及び車いす使用者用駐車場)、及びバックヤード ハ. 駐輪場(台数を明示する。) ニ. ドライエリアの位置 ホ. 地下1階部分(点線で図示する。)、及び面積 ヘ. 通路、植栽等 ③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 1階の屋根、ひさし等となる部分 ロ. 吹抜けの位置
(2) 2階平面図 1/200	
(3) 断面図 1/200	① 切断位置は、企画展示室を含む南北方向とし、建築物全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ③ 梁、スラブの断面を図示する。基礎及び地下1階については、記入しなくてよい。 ④ 設備機械を屋上設置した場合は、点線にて図示する。
(4) 2階梁伏図 1/200	① 2階からの見下げ図とし、主要な大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号・部材・断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使用した場合の断面寸法は、H-○×○のように記入する。

2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

- 地上1階、及び2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。
- 有効率(1・2階合計面積に対する要求室に指定された室合計面積の割合)及びその算定式を記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 建築物の内部プランニング、及び鑑賞順路について配慮したこと
  - 建築物のセキュリティ・防犯について配慮したこと
  - 敷地の周辺環境について配慮したこと
- 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
  - 耐震計画について配慮したこと
- 設備計画について、次の①～④の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 建築物に採用した空調方式と採用した理由
  - 設備機器等のランニングコストについて配慮したこと
  - 排煙計画について配慮したこと
  - 地下1階の機械室に設置した主な設備機械
- 建築物の環境負荷低減(熱負荷の抑制、省エネルギー等)について、配慮したことを具体的に記述する。

試験場	受験番号	氏名